



新任のご挨拶



腹部ヘルニアセンター長
今井 義朗

この度、当院に「腹部ヘルニアセンター」を設立しました。センター長の今井義朗です。

当センターでは、鼠径部ヘルニアや、手術後に生じる腹壁瘢痕ヘルニアを中心に、小児から高齢の方まで幅広く診療しています。腹腔鏡手術、ロボット支援下手術、鼠径部を切開する手術などから、患者さん一人ひとりの状態に適した治療法を選択します。おへその傷一か所のみで行う単孔式手術や、おなかの中に入らず、腹壁のすき間を利用して修復する体への負担が少ない手術にも積極的に取り組んでいます。複雑なヘルニアにも対応し、安全な治療を目指しています。また、できる限り患者さんをお待たせせず、ご希望に沿った時期に手術を受けていただけるよう努めています。

—— 患者サポートエリア～第3弾～「口腔チェック」編 ——

患者サポートエリアで行っている支援の一つに「口腔チェック」があります。全身麻酔による手術では、呼吸を助けるためのチューブを口から挿入します。また、上部消化管内視鏡検査でも内視鏡が口を通ります。そのため、口の中を清潔に保ち、歯の状態を確認しておくことは、安全に治療や検査を受けるためにとても大切です。口の中に細菌が多いと、手術後の肺炎などの感染症につながることがあります。また、ぐらついている歯があると、処置中に歯が抜ける可能性があります。こうしたトラブルを防ぐため、口腔チェックを行い、必要に応じてマウスピースの作製や専門的な口腔ケアを行っています。また、がん治療を受ける患者さんに対しても、抗がん剤治療や放射線治療などに伴う口内炎や口の乾燥などのトラブルを予防・軽減し、安心して治療を続けられるよう支援しています。私たちは「口から支える安全な医療」を大切に、患者さんが安心して治療を受けられる環境づくりに取り組んでいます。



—— 体への負担が少ない新しい心臓手術「MICS (低侵襲心臓手術)」のご案内 ——

大阪医科薬科大学病院 心臓血管外科では、患者さんの体への負担を軽減する「低侵襲心臓手術 (MICS: Minimally Invasive Cardiac Surgery)」を行っております。

■ MICS (ミックス) とは？

従来の心臓手術は、胸の真ん中にある骨 (胸骨) を大きく切り開いて行っていました。一方、MICS は、右胸の肋骨の間を小さく (約5～7cm程度) 切開し、そこから特殊な器具や内視鏡を使って行う手術方法です。

■ MICS がもたらすメリット

- 1 **胸の骨を温存できる**：骨を切り開かないため、術後に骨がくっつくのを待つ期間が不要になります。
- 2 **スムーズなリハビリと早期社会復帰**：腕や上半身に対する厳しい運動制限がなく、早い段階から元の日常生活へ復帰することが可能です。
- 3 **感染症トラブルの回避**：骨の切断がなく傷も小さいため、骨の細菌感染や化膿のリスクを極めて低く抑えられます。
- 4 **出血を抑えお体への負担を軽減**：従来の手術に比べて出血量が少なく済むため、輸血が必要になる可能性が下がります。
- 5 **傷跡が小さく美容面で有用**：胸の正面に大きな傷跡が残らないため、美容面でも優れ、女性の患者さんにも配慮した術式です。



■ 適応となる主な心臓の病気

- 弁膜症 (僧帽弁閉鎖不全症、大動脈弁狭窄症など)
- 心房中隔欠損症などの先天性心疾患
- 心臓の良性腫瘍 (粘液腫など)

■ 治療成績と「心臓への負担」について

MICSは国内外で従来の手術と同等の高い安全性と治療効果が証明されており、合併症が減少し術後の生活の質 (QOL) が向上することが特徴です。

一方で、限られた小さな傷から特殊な器具を用いて手術を行うため、従来に比べて手術時間が長くなる傾向があり、その分「心臓そのものには負担がかかる可能性がある」という側面も報告されています。だからこそ、事前の精密検査を行い、MICSのメリットが心臓への負担を上回るかどうかを慎重に見極める必要があります。

■ MICSに適しているのはどんな方？ (良い適応となる条件)

安全性を最優先するため、以下のような特徴を持つ患者さんがMICSの「良い適応 (向いている状態)」となります。

- 全身の主な血管 (胸・腹部の大動脈や足の付け根の血管など) に、強い動脈硬化や石灰化 (血管が硬くなること)、動脈瘤 (こぶ) がない
- 極端なやせ型や肥満体型ではない
- 心臓の動きが低下していない
- 過去に胸を開く心臓手術 (開心術) を受けたことがない
- 過去に肺の手術や病気を患ったことがない
- 肺の機能が良好で、重い肺の病気 (間質性肺炎や慢性閉塞性肺疾患など) がなく、手術中の特殊な呼吸管理 (片方の肺だけで呼吸を維持すること) を安全に行える

最も大切なのは「安全に、確実に病気を治すこと」です。当院では患者さん一人ひとりの状態に最も適した手術方法をご提案いたします。手術について不安なこと、わからないことがありましたら、どうぞお気軽に担当医にご相談ください。

AI電話専用ダイヤルのご案内



当院では、受診予約の「変更・キャンセル・確認」ができるAI電話専用ダイヤルをご利用いただけます。24時間365日いつでもお申し込みが可能で、原則として土日祝日を除く2日以内に、SMSまたは電話でご連絡いたします。

【ご利用にあたっての注意事項とお願い】

- AI電話での聞き取りには、4分程度のお時間をいただきます。お時間に余裕のある際にご利用ください。
- 静かな場所からおかけください。
- AI電話は周囲の話し声やテレビの音などを認識してしまう場合があります。できるだけ静かな環境からおかけいただくと、よりスムーズにお手続きいただけます。
- おかけ間違いにご注意ください。

よくある質問 (Q&A) やAI電話での聞き取り内容の例は、当院ホームページに掲載しております。初めてご利用される方は、ぜひ事前にご確認ください。

患者さん向け通院支援アプリのご案内

当院では患者さんの利便性向上のため、2025年7月より通院支援アプリ「HOPE LifeMark-コンシェルジュ」(富士通製)を導入いたしました。本アプリにより、スマート診察券、予約確認、家族登録などがスマートフォンで簡単にできるようになりました。受付時の混雑緩和や待ち時間の有効活用に貢献し、多くの患者さんにご好評いただいております。今後もより快適な受診環境の提供に努めてまいります。



ご来院のみなさまへ

8月1日よりマスク着用のルールを変更しました

かぜ症状がない場合 マスクの着用は任意です

インフルエンザや新型コロナなどの感染症流行期にはマスク着用をお願いすることがあります

ただし

- ✓ 発熱、せき、くしゃみ、鼻水など
かぜ症状がある場合はマスクの着用をお願いします
- ✓ 手指消毒などの感染対策へのご協力をお願いします

【重要なお知らせ】
病院入口の開錠時間が
変わりました

令和8年(2026年)10月1日(木)から
これまで **午前7時30分**

これから **午前8時00分**
※午前8時までは病院の中に入れません。ご注意ください。

診療受付開始時間・診察時間はこれまでどおりです。
受付開始 午前8時30分
診察開始 午前9時00分

ON OFF COLUMN オンとオフ プロフェッショナルの素顔 vol.5



皮膚科
科長
森脇 真一

私は米国NIH留学中、「オン」(勤務時間中は業務(研究)に集中する)と「オフ」(夜間、土日祝日は家族とのプライベートの時間を大切に)の切り替えの重要性を学びました。

光皮膚科学を専門にして40年、太陽紫外線曝露による皮膚老化進行、皮膚がん誘発のメカニズムをずっと研究テーマにしてきました。皮膚に様々な健康被害をもたらす紫外線曝露ですが、唯一の利点は皮膚内でビタミンD合成を開始することです。ビタミンDは骨を強くする物質として有名ですが、生活習慣病・感染症予防、免疫力UP、がん抑制、神経機能維持にも関わっていて、いわば「疾患を防ぐための太陽からの恩恵」とも言えます。

私のオフは「太陽からの恩恵」をたっぷりと受けながらアウトドアスポーツを楽しむことです。若い時はダイビング、サーフィンに没頭した時期もありましたが、年を経た今では比較的安全なゴルフ、SUP、シーカヤック、シュノーケリングを楽しんでいます。オフに仕事は一切持ち込まず、仕事に関する電話、メールは原則スルー、無返信が私のポリシーです。もちろん、適切な紫外線ケアのもとでのアウトドアライフの充実です。



国内特別講演



国際学会座長(インド、ムンバイ)



ゴルフ
(タイ、バンコク郊外)



SUP
(サップ・スタンドアップパドル)
(小笠原 父島)



シーカヤック(小笠原 父島)

イベント告知

院内コンサート開催のお知らせ

大阪医科薬科大学医学部・看護学部のアートクラブ、管弦楽部による院内コンサートを今年も開催いたします。

音楽を通じて皆様に安らぎのひとときをお届けできるよう、部員一同、心を込めて練習に励んでおりますので、ぜひお立ち寄りください。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

日時:10月25日(日)14時から

場所:旧外来棟1階フードコートエリア

申込方法:事前申込不要

入院患者さんは病棟看護師へお声がけください。



昨年の様子



昨年の様子

「第13回糖尿病デーin大阪医薬大」開催のお知らせ

11月14日の「世界糖尿病デー」にあわせ、当院では今年も啓発イベント「第13回 糖尿病デーin大阪医薬大」を開催いたします。今年は「小さなことからコツコツと！日常生活に取り入れたい健康習慣～糖尿病の発症・悪化予防のための生活とは～」をテーマに掲げ、ポスター展示や血糖測定体験、糖尿病に関する相談コーナーをご用意しています。

ご家族やお知り合いとお誘いあわせのうえ、ぜひお越しください。

日時:11月12日(木)10時から15時まで

場所:当院本館1階

申込方法:申込不要



イベント報告

世界高血圧デー2026 in OMPU 開催

毎年5月17日は「世界高血圧デー」です。当院では高血圧の予防と適切な管理の重要性を知っていただくための啓発イベントを開催しました。会場では血圧測定や高血圧に関する資料配布を行い、多くの皆さまにご参加いただきました。高血圧は自覚症状が少ない一方で、脳卒中や心筋梗塞、腎臓病などの重大な病気につながる可能性があります。今後もこのような機会を通じてご自身の血圧を見直し、家庭での血圧測定や生活習慣の改善に取り組んでいただければ幸いです。



「世界肝炎デー」イベント開催

7月28日世界肝炎デーに合わせ、肝炎について楽しく学んでいただくイベントを1階ロビーで開催しました。当日は、肝炎に関するクイズに挑戦していただき、会場のポスターを見ながら答えを探す形式で、多くの方にご参加いただきました。全問正解を目指しながら、肝炎検査や治療の大切さを知っていただける機会となりました。参加者には啓発グッズもお渡しし、笑顔の多いイベントとなりました。来年もぜひお気軽にご参加ください。



市民公開講座『食物アレルギー』開催



アレルギーセンター設立以来、毎年8月の第1週の土曜日に行ってきた市民公開講座を今年も8月1日に開催いたしました。

今回は食物アレルギーをテーマに、親子で一緒に学べる企画としました。会場にはたくさんの親子が参加してください、クイズあり体験コーナーありの公開講座を楽しみながら学ぶ様子が随所に見られ、センター員全員がとても嬉しく思いました。

また来年も同じ時期に開催できればと存じます。

「クリニックラウン 小児病棟 夏祭り」開催

コロナ対策のため開催を見合わせていた夏祭りでしたが、今年ようやく開催することができました。学生ボランティア、クリニックラウンの皆さまにもご協力いただき、輪投げやヨーヨー釣りなどの縁日コーナーを用意し、子どもたちは思い思いにゲームを楽しみました。最後には、一般社団法人H2Oサンタ様からご寄贈いただいた「手作りあかり」をプレゼントし、子どもたちの笑顔あふれる素敵な夏の思い出となりました。

夏祭り開催にご尽力いただいた皆さま、ありがとうございました。



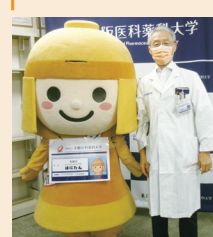
「わくわく減塩料理教室」開催

2026年8月22日(土)、大阪医科薬科大学病院栄養部は、当院受診中の患者さんとそのご家族を対象に料理教室を開催しました。管理栄養士が「減塩食」をテーマに、家庭で実践しやすい調理方法や味付けの工夫を紹介。参加者は実習を通して減塩のポイントを学び、和やかな雰囲気の中で交流を深めました。栄養部では今後も地域の皆さまの健康づくりを支援する取り組みを継続してまいります。

レシピは当院ホームページ栄養部内に掲載しております。



「世界患者安全週間」の取り組み



毎年9月17日はWHOの定める「世界患者安全の日」です。今年のテーマは、「Safe care for noncommunicable diseases」(非感染性疾患に対する安全なケア)です。9月14日-19日を「世界患者安全週間」とし、世界患者安全の日のテーマカラーであるオレンジ色を基調としたお花を正面玄関に設置し、9月17日は高槻市のマスコットキャラクター「はにたん」を1日医療安全推進室長に任命し、世界患者安全の日のアピール活動を行いました。また、9月18日は医療安全研修会として、三島医療圏医療安全ネットワークの参加病院から医療安全の取り組み報告を行い、近隣病院と共に学びを深めました。